みずばしょう

5月号

『お花見』特集号

近隣の桜名所にて

今月のフラワーアレンジメント）（^^)v

柏餅豆知識

柏餅は
「子孫繁栄の意味が込められた縁起の良い食べ物」

端午の節句に柏餅を食べるようになったのは、九代将軍の徳川家重の頃だと言われています。
江戸時代に俳人として有名だった齋藤徳元がまとめた書物「俳諧初学抄」において、1641年のものには5月の季語として「柏餅」が記載されていませんでした。
ところが、1661年から1673年にかけて成立した「酒餅論」では5月の季語として柏餅が紹介されています。
そのため、柏餅が端午の節句として定着したのは、1641年以降だと考えられています。

古来より柏の葉は、神様へのお供え物を盛るための器として使われており、柏の木は神聖なものとされていました。また、柏は、冬を超えて、次の新芽が出るまでは古い葉が落ちないという特性があります。
このことから「家を継ぐ子どもが生まれるまでは、親は死なない」、「跡継ぎが絶えない」と考えられ、子孫繁栄の意味が込められるようになりました。
また、江戸時代当時は乳児の死亡率も高く、家系の存続が至上命題だった武家にとっては、柏餅はとても縁起のよい食物だったのです。
その後、柏餅は武家だけでなく、庶民の間でも端午の節句の食べ物として定着し、現在に至ります。

『らいふつくば花畑』からのお知らせです

機械浴とリフトを新しく購入いたしました、幅が広くなり入りやすいと　喜んでいただいております。

今月の予定

母の日

4月のハッピーバースデー

今月の制作

空室状況

5月1日現在♪
らいふつくば花畑

空室　1。